

神奈川地区・幸ヶ谷地区・青木第一地区・青木第二地区 【反町地域ケアプラザエリア①】

地域の特性



(1) データで見る地域の概要

このエリアでは平成17年3月末から平成21年3月末までの間に人口が約14%増と急増しています。また、0～6歳人口比率が区内で2番目に高く、65歳以上人口比率は2番目に低くなっています。マンション建設等により子育て世代の転入が増加し、地区連合でも0～6歳人口比率は神奈川地区が21連合中1番目、幸ヶ谷地区が5番目に高く、65歳以上人口比率は幸ヶ谷地区が21連合中2番目、神奈川地区が4番目、青木第二地区が5番目に低くなっています。

青木第一地区では65歳以上人口比率が区平均よりも高く、特に75歳以上人口比率が21連合中4番目に高くなっています。

エリア内には反町駅、東神奈川駅、仲木戸駅、神奈川新町駅、神奈川駅があり交通の便が良好です。地域ケアプラザや地区センター、医療機関、9つの小中高校（公私立）、青木第一地区を中心に障害者の地域作業所が数多くあります。また区役所のほか、福祉保健活動拠点、地域子育て支援拠点「かなーちえ」、区民活動支援センター等があり、区の拠点地区になっています。

基礎数値（人口、世帯、高齢化率等）

（平成21年3月末現在）

地区名	人口（人）	世帯数	0～6歳人口比率（%）	65歳以上人口比率（%）	75歳以上人口比率（%）	単身世帯比率（%）	
						65歳以上	75歳以上
神奈川	13,463	6,990	9.0	14.7	6.4	10.5	5.1
幸ヶ谷	7,934	4,633	6.4	12.7	5.6	6.5	3.3
青木第一	15,755	8,490	5.2	19.4	10.2	11.7	7.2
青木第二	5,522	3,271	5.1	15.9	8.4	9.9	6.0
4地区合計	42,674	23,384	6.7	16.2	7.9	10.1	5.6
神奈川区全体	227,164	113,856	5.8	18.8	8.7	10.7	6.2

(2) 行われている主な活動

- ◆ 臨海部に親子のたまり場「すくすく子がめ隊」が新設され、エリア内合計5か所で開催されるなど子育て支援が積極的に行われています。
- ◆ 高齢者の会食会や配食活動、ミニデイサービス等が行われています。
- ◆ ウォーキングや体操等、まちぐるみで健康づくりに取り組んでいます。
- ◆ 青少年指導員や体育指導委員が中心になって三世代が参加するハイキングやグラウンドゴルフを開催し、世代間の交流を図っています。
- ◆ コンサートや盆踊り等、小中学生と高齢者や障害者が交流する機会が設けられています。
- ◆ 障害者地域作業所が夏まつりや防災訓練等に参加し、地域と交流しています。

(3) 地域の課題

【1】次代を担う人の参加促進

若年人口が増加傾向にある一方、地域活動の担い手の高齢化により、次代を担う人の参加が課題となっています。培われてきたコミュニティを活かしつつ、元気な高齢者や団塊の世代の参加を図るとともに、世代間の交流により若年層が参加しやすい環境を整えていくことが求められています。

【2】隣近所との顔の見える関係づくり

新しいマンションで「すくすく子がめ隊」を開催するなどの取組等が行われていますが、人口の急増により、支えあいや見守りに必要な住民同士の交流が希薄化している状況があります。日頃から隣近所で顔の見える関係づくりを進めていくことが、必要になっています。

地区ごとの「重点課題」と「取組」

神奈川地区

重点課題：次代を担う人の参加促進

すぐに
取り組む
こと

〔自治会町内会〕

- 地域行事（公園清掃など）の参加者に、自治会町内会への協力を呼びかけます。
- 隣近所のつながりや会話ができるよう、回覧板は手渡しし、情報は口コミで流します。
- 定年退職した方など元気な高齢者に声をかけ、自治会町内会活動への参加を促します。

時間を
かけて
取り組む
こと

〔自治会町内会〕

- 若い人が地域と接する機会をつくるため、若い人にもできる活動（高齢者世帯の電球交換など）の機会を設けます。

〔地区社会福祉協議会、自治会町内会〕

- 行事を通じた世代間交流や障害者施設との交流に積極的に取り組み、次代の担い手の参加を進めていきます。

〔自治会町内会、学校、PTA、保育園、幼稚園、学童保育〕

- 子どもが参加できる機会を設けることで、親世代の交流と参加を進めていきます。

〔連合町内会〕

- 有識者から次代の担い手づくりをテーマに話をしてもらう機会を設けます。

幸ヶ谷地区

重点課題①：隣近所とあいさつを
交わせる関係づくりすぐに
取り組む
こと

〔個人の取組〕

- 自分からあいさつや声かけをするように心がけます。

〔自治会町内会、民生委員児童委員〕

- 高齢者等を訪問する際や歴史散歩等の来訪者に感じの良いあいさつをし、相手の話に耳を傾けるようにします。

時間を
かけて
取り組む
こと

〔個人の取組〕

- 登下校の見守りなどの活動を通じて、幅広い世代と知り合いの輪を広げていきます。

〔自治会町内会、学校〕

- あいさつ運動のスローガンを定め、学校と連携してポスターをつくって掲示します。小・中・高校生にもPRします。

重点課題②：次代を担う人の参加促進

すぐに
取り組む
こと

〔自治会町内会〕

- 子どもから高齢者まで参加できるイベントを行い、中学生にも声をかけ、幅広く参加の輪を広げます。
- 火の用心・防犯パトロールは土曜や休日にも実施して、活動に参加しやすいようにします。

時間を
かけて
取り組む
こと

〔連合町内会、青少年指導員、体育指導委員〕

- 連合町内会で年間行事を企画して、活動の輪を広げます。
- 行事は各担当で役割分担を決めて実施します。学校へも呼びかけ、三世代交流や小・中・高校生の参加を働きかけます。

〔自治会町内会〕

- 会合や行事への参加を呼びかける際は、回覧に加えてお知らせの各戸配布を行います。なお、楽しい行事の結果や参加者の声をお伝えします。

青木第一地区

重点課題：次代を担う人の参加促進

すぐに
取り組む
こと

〔自治会町内会、地区社会福祉協議会〕

- 顔見知りを増やすため、まず自分自身が地域の行事に参加し、地域の人にあいさつや声かけをします。
- 行事や防災訓練などへの参加を、できるだけ一人ひとりに呼びかけます。
- 自治会町内会の行事に若年層が参加できるよう、小中学校や子ども会等の団体、マンションに参加の呼びかけなどの協力を依頼します。

時間を
かけて
取り組む
こと

〔自治会町内会〕

- まつりや交通ルールを学ぶ教室を開催するなど、子どもを主体とした行事の機会を活用して保護者の参加を促します。
- 行事に参加してくれた人に、次は協力者として参加してもらえるよう心がけて声をかけます。
- 協力者の友人に行事の担い手として参加してもらえるよう工夫します。
- 行事への参加を通じ、三世代交流の中から人材を見出します。

青木第二地区

重点課題：次代を担う人の参加促進

すぐに
取り組む
こと

〔連合町内会〕

- 単位町内会では参加者が少ないので、連合町内会を活用して連合単位で行事を行い、参加を呼びかけていきます。

〔連合町内会、自治会町内会〕

- 自治会町内会のホームページを作成するなど町内会から地域の情報を発信します。
- 地域交流の場づくりでは若い人に無理強いをしないで、年配者がフォローします。
- 盆踊り、ラジオ体操など子ども会に加えて高齢者が参加できるイベントを行います。
- 中学生におまつりの手伝いをするよう声をかけていきます。
- 次代を担う若い人向けに楽しめるイベントを開催します。
- 自治会町内会の会合の場を活用して、だれもが参加できる行事について話し合っていきます。

重点課題に対する区役所の取組

重点課題：「次代を担う人の参加促進」

【ボランティア活動のきっかけづくり・情報の提供】

ボランティアを希望する人と必要とする団体等がつながるよう、講座や情報提供、関係機関との連携を行います。



【青少年指導員・体育指導委員・子ども会】

地域で活動する青少年育成関連団体が主催する各種事業に対し、支援を行います。

【福祉・保健の拠点による情報発信】

地域ケアプラザ、福祉保健活動拠点、「かながわ地域活動ホームほのぼの」、子育て支援拠点「かなーちえ」、区民活動支援センターにおいて活動に必要な情報を収集・提供します。

重点課題：「隣近所とあいさつを交わせる関係づくり」

【ふれあい訪問事業】

地域でのひとり暮らし高齢者等の見守りに、必要な情報提供や研修を行います。

【すくすくかめっ子事業】

地域の親子のたまり場「すくすく子がめ隊」の運営を支援します。

【こんにちは赤ちゃん訪問事業】

地域と協力し、生後4か月までの乳児のいる家庭を地域の訪問員が訪問し、地域の子育てに関する情報提供等を行います。



地域を支援するための反町地域ケアプラザの取組

- 在宅で高齢者を介護している方たちの集まりを、地域ケアプラザ以外の場所にも増やしていきます。
- 支援が必要な障害者や高齢者が地域と交流する機会として、反町地域ケアプラザ周辺の障害者施設や高齢者施設と共催で実施している福祉まつりを引き続き行います。
- 地域の方を対象に実施しているサロン事業の発展により、幅広く世代間交流できる「場」の提供を行います。
- ボランティア活動や地域の情報がいつでも必要な時に利用できるよう、情報の収集・蓄積・更新を行います。また、地域ケアプラザの利用者や、地域の方が必要としている介護保険をはじめとした様々な情報を分かりやすく発信していきます。
- 地域ケアプラザでボランティア活動をしている方や団体の交流会を実施し、活動団体相互の連携を活発にします。
- 民生委員児童委員が実施しているミニデイサービスや地域のボランティア団体等との連携により、支援を必要としている方の把握に努め、必要な情報提供などを行います。
- 区社会福祉協議会等と連携し、ボランティアの育成を行います。
- 地域のネットワークづくりの支援に取り組みます。